

中小企業景況調査報告書

2026年4～6月期実績

2026年7～9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2026年4～6月期の実績及び2026年7～9月期見通し

②調査期間：2026年5月21日～6月5日 ※調査時点は2026年6月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、鹿追町、弟子屈町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ、音更町

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	48	47	97.9%	小売業	86	86	100.0%
建設業	51	51	100.0%	サービス業	115	113	98.3%
				合計	300	297	99.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期見込	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12	R8.1-3	今期	来期見込
製造業	▲ 12.8	▲ 12.8	▲ 26.6	▲ 24.4	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 4.2	▲ 12.8
建設業	▲ 25.5	▲ 37.2	▲ 8.0	0.0	▲ 5.9	▲ 19.1	▲ 27.5	▲ 33.3
小売業	▲ 34.1	▲ 38.1	▲ 16.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 29.7	▲ 31.8	▲ 34.1
サービス業	▲ 25.0	▲ 27.0	▲ 23.6	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 28.2	▲ 27.6	▲ 18.7

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7.7-9	R7.10-12	R8.1-3	今期	来期見込
業況	好 転	10.6	8.5	6.7	10.6	4.3	12.8	8.5
	不 変	66.0	70.2	62.2	68.1	65.3	70.2	70.2
	悪 化	23.4	21.3	31.1	21.3	30.4	17.0	21.3
	D・I	▲ 12.8	▲ 12.8	▲ 24.4	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 4.2	▲ 12.8
売上(加工)額	増 加	27.7	12.8	22.2	31.9	13.0	29.8	
	不 変	44.6	65.9	46.7	40.4	50.0	55.3	
	減 少	27.7	21.3	31.1	27.7	37.0	14.9	
	D・I	0.0	▲ 8.5	▲ 8.9	4.2	▲ 24.0	14.9	
資金繰り	好 転	2.1	0.0	0.0	6.5	2.2	4.3	
	不 変	85.1	89.4	79.5	80.5	80.0	87.2	
	悪 化	12.8	10.6	20.5	13.0	17.8	8.5	
	D・I	▲ 10.7	▲ 10.6	▲ 20.5	▲ 6.5	▲ 15.6	▲ 4.2	
原材料仕入単価	上 昇	73.9	64.4					
	不 変	23.9	31.2					
	低 下	2.2	4.4					
	D・I	71.7	60.0					
採算(経常利益)	好 転	10.6	10.6					
	不 変	59.6	59.6					
	悪 化	29.8	29.8					
	D・I	▲ 19.2	▲ 19.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

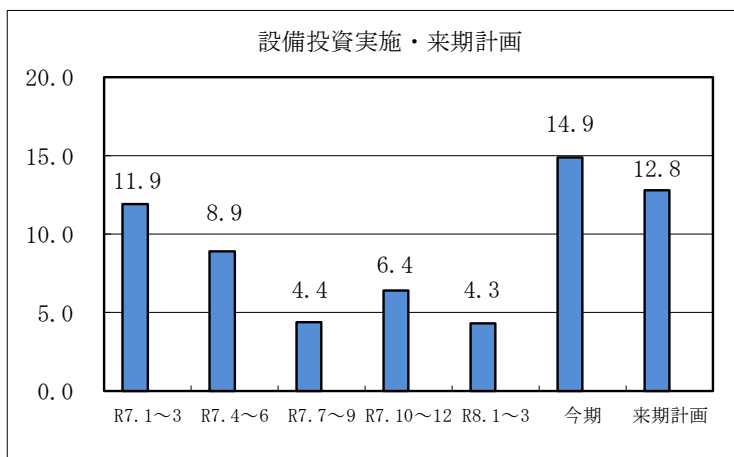
回答47事業所の内、7事業所(14.9%)が実施。

●工場建物、生産設備=各3事業所、●車両・運搬具=2事業所

【来期計画内容】

回答47事業所の内、来期に6事業所(12.8%)が計画。

●生産設備=4事業所、●車両・運搬具、付帯施設=各1事業所

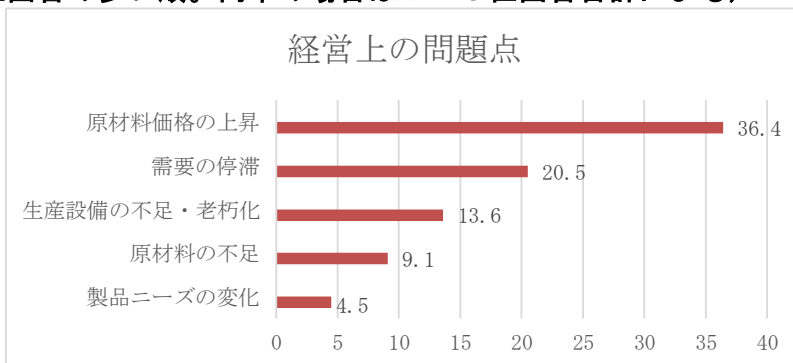


○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位から3位までは、前回から順位の変動はなかった。

1位の「原材料価格の上昇」は前回からさらに4.8ポイント増加した一方、2位の「需要の停滞」は0.6ポイント、3位の「生産設備の不足・老朽化」は4.8ポイント減少した。

4位は前回5位の「原材料の不足」で3.8ポイントの増加、5位は前回4位の「製品ニーズの変化」で3.4ポイントの減少となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R7.7-9	R7.10-12	R8.1-3	今期	来期見込
業況	好転	2.0	2.0	16.0	7.8	4.3	0.0	5.9
	不変	70.5	58.8	68.0	78.5	72.3	72.5	54.9
	悪化	27.5	39.2	16.0	13.7	23.4	27.5	39.2
	D・I	▲ 25.5	▲ 37.2	0.0	▲ 5.9	▲ 19.1	▲ 27.5	▲ 33.3
完成工事 (請負工 事)額	増加	3.9	0.0	34.0	25.5	19.1	27.5	
	不変	60.8	54.9	46.0	29.4	49.0	50.9	
	減少	35.3	45.1	20.0	45.1	31.9	21.6	
	D・I	▲ 31.4	▲ 45.1	14.0	▲ 19.6	▲ 12.8	5.9	
資金繰り	好転	2.0	0.0	10.2	7.8	0.0	3.9	
	不変	82.3	72.5	81.6	76.5	89.4	82.4	
	悪化	15.7	27.5	8.2	15.7	10.6	13.7	
	D・I	▲ 13.7	▲ 27.5	2.0	▲ 7.9	▲ 10.6	▲ 9.8	
材 料 仕入単価	上昇	86.3	80.4					
	不変	13.7	19.6					
	低下	0.0	0.0					
	D・I	86.3	80.4					
採算(経 常利益)	好転	2.0	0.0					
	不変	60.7	54.9					
	悪化	37.3	45.1					
	D・I	▲ 35.3	▲ 45.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

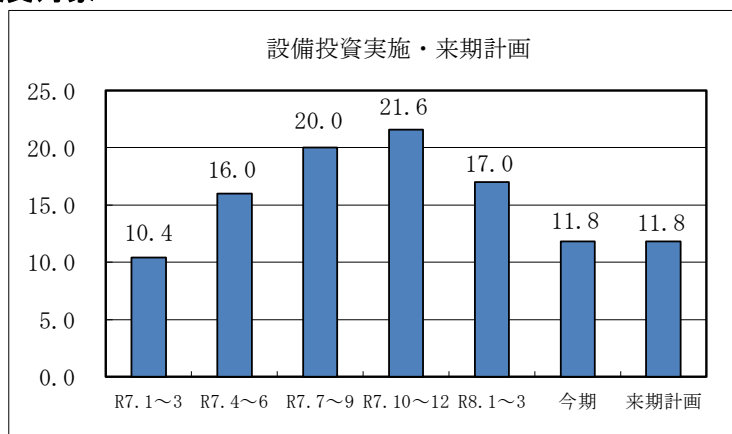
回答51事業所の内、6事業所(11.8%)が実施。

●建設機械、OA機器=各2事業所、●建物、車両・運搬具、付帯施設=各1事業所

【来期計画内容】

回答51事業所の内、来期は6事業所(11.8%)が計画。

●建設機械、車両・運搬具=各2事業所、●建物、付帯施設=各1事業所



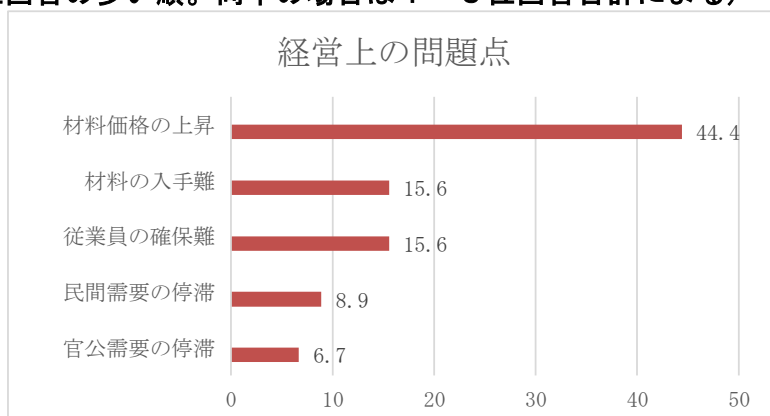
○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は、前回同様「材料価格の上昇」で6.6ポイント増加した。

2位は、前回番外の「材料の入手難」で7.5ポイント増加した。

3位から5位については、前回と比較してそれぞれ1順位ずつ低い順位となった。

3位の「従業員の確保難」は6.0ポイント、4位の「民間需要の停滞」は4.6ポイント、5位の「官公需要の停滞」は4.1ポイントそれぞれ減少した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 7-9	R7. 10-12	R8. 1-3	今期	来期見込
業 況	好 転	4.7	3.6	9.4	5.9	3.6	4.7	5.9
	不 変	56.5	54.7	68.2	60.0	63.1	58.8	54.1
	悪 化	38.8	41.7	22.4	34.1	33.3	36.5	40.0
	D・I	▲ 34.1	▲ 38.1	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 29.7	▲ 31.8	▲ 34.1
売上額	増 加	14.0	8.1	29.1	18.8	17.9	24.4	
	不 変	43.0	48.9	44.2	36.5	33.3	31.4	
	減 少	43.0	43.0	26.7	44.7	48.8	44.2	
	D・I	▲ 29.0	▲ 34.9	2.4	▲ 25.9	▲ 30.9	▲ 19.8	
資金繰り	好 転	2.4	1.2	4.7	1.2	3.6	1.2	
	不 変	73.8	73.8	77.7	68.2	71.1	76.2	
	悪 化	23.8	25.0	17.6	30.6	25.3	22.6	
	D・I	▲ 21.4	▲ 23.8	▲ 12.9	▲ 29.4	▲ 21.7	▲ 21.4	
商 品 仕入単価	上 昇	69.8	62.8					
	不 変	27.9	33.7					
	低 下	2.3	3.5					
	D・I	67.5	59.3					
採算(経 常利益)	好 転	4.7	3.6					
	不 変	52.9	58.3					
	悪 化	42.4	38.1					
	D・I	▲ 37.7	▲ 34.5					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

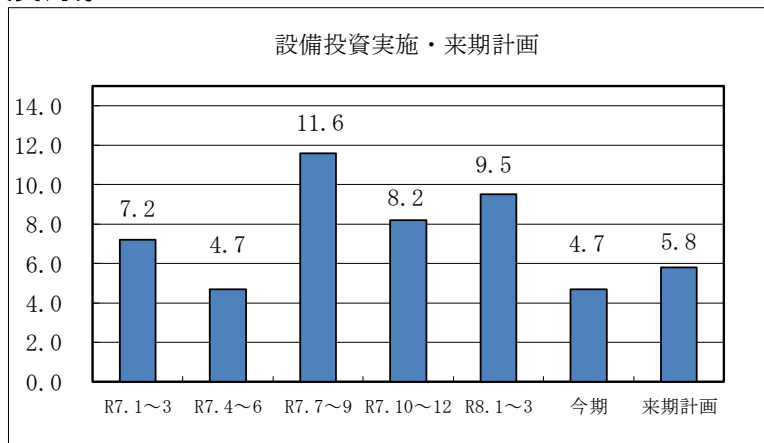
回答86事業所の内4事業所(4.7%)が実施。

●販売設備=2事業所、●車両・運搬具、付帯施設、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

回答86事業所の内、来期は5事業所(5.8%)が計画。

●販売設備=4事業所、●付帯施設=2事業所

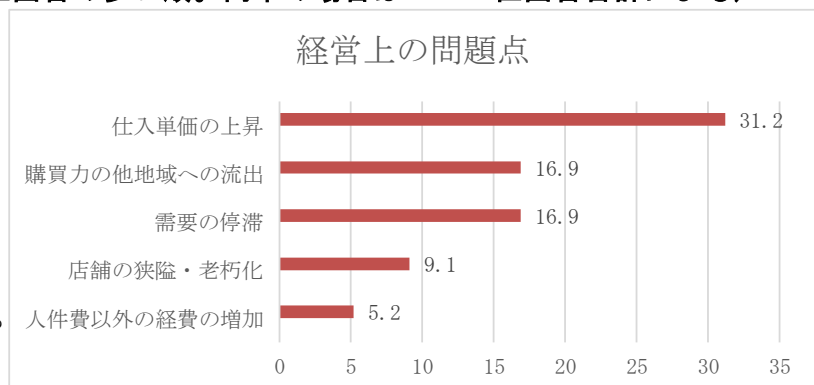


○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位から3位までは、前回から順位の変動はなかった。

1位の「仕入単価の上昇」は4.8ポイント、3位の「需要の停滞」は1.6ポイント増加した一方、2位の「購買力の他地域への流出」は3.9ポイント減少した。

前回番外の「店舗の狭隘・老朽化」が4.9ポイント増加し4位となり、前回4位の「人件費以外の経費の増加」は1.7ポイント減少し5位となった。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 7-9	R7. 10-12	R8. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	5.4	4.5	4.8	6.6	6.1	4.5	6.3
	不 変	64.2	64.0	72.1	65.1	59.6	63.4	68.7
	悪 化	30.4	31.5	23.1	28.3	34.3	32.1	25.0
	D・I	▲ 25.0	▲ 27.0	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 28.2	▲ 27.6	▲ 18.7
売上(収入)額	増 加	19.5	10.8	28.6	18.7	12.7	22.3	
	不 変	48.6	61.3	52.4	51.4	48.1	48.2	
	減 少	31.9	27.9	19.0	29.9	39.2	29.5	
	D・I	▲ 12.4	▲ 17.1	9.6	▲ 11.2	▲ 26.5	▲ 7.2	
資金繰り	好 転	2.8	1.9	5.0	4.8	5.1	5.5	
	不 変	70.6	70.3	76.2	73.3	62.6	69.7	
	悪 化	26.6	27.8	18.8	21.9	32.3	24.8	
	D・I	▲ 23.8	▲ 25.9	▲ 13.8	▲ 17.1	▲ 27.2	▲ 19.3	
仕入単価(材料等)	上 昇	71.2	67.6					
	不 変	27.9	29.7					
	低 下	0.9	2.7					
	D・I	70.3	64.9					
採算(経常利益)	好 転	5.4	5.4					
	不 変	59.8	64.2					
	悪 化	34.8	30.4					
	D・I	▲ 29.4	▲ 25.0					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

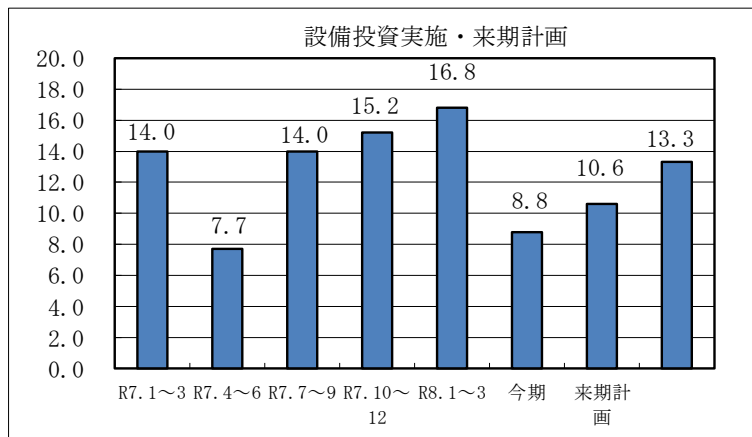
回答113事業所の内、12事業所(10.6%)が実施。

- 車両・運搬具=5事業所、
- 建物=4事業所、●サービス、付帯施設=各2事業所、●土地、その他=各1事業所

【来期計画内容】

回答113事業所の内、15事業所(13.3%)が計画。

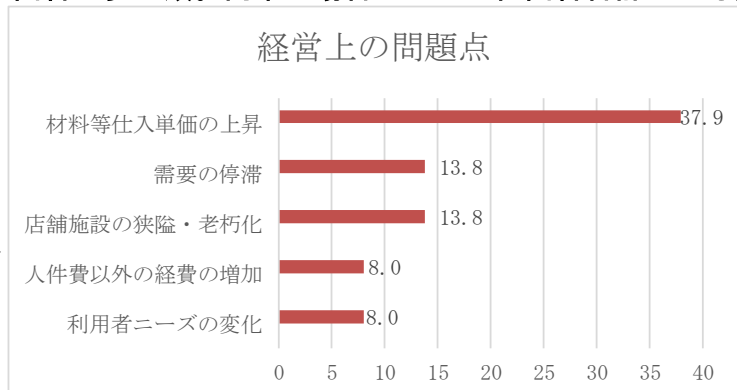
- サービス=4事業所、●建物、車両・運搬具、OA機器=各3事業所、●付帯施設、その他=各2事業所、●土地=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

3位・4位を除き、前回同様の順位となった。

1位は「材料等仕入単価の上昇」で16.6ポイント増加、2位は「需要の停滞」で2.2ポイント減少した。前回4位の「店舗施設の狭隘・老朽化」は0.5ポイント増加して3位となり、前回3位の「人件費以外の経費の増加」は6.7ポイント減少して4位となった。前回同様5位は「利用者ニーズの変化」で、2.7ポイント減少した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

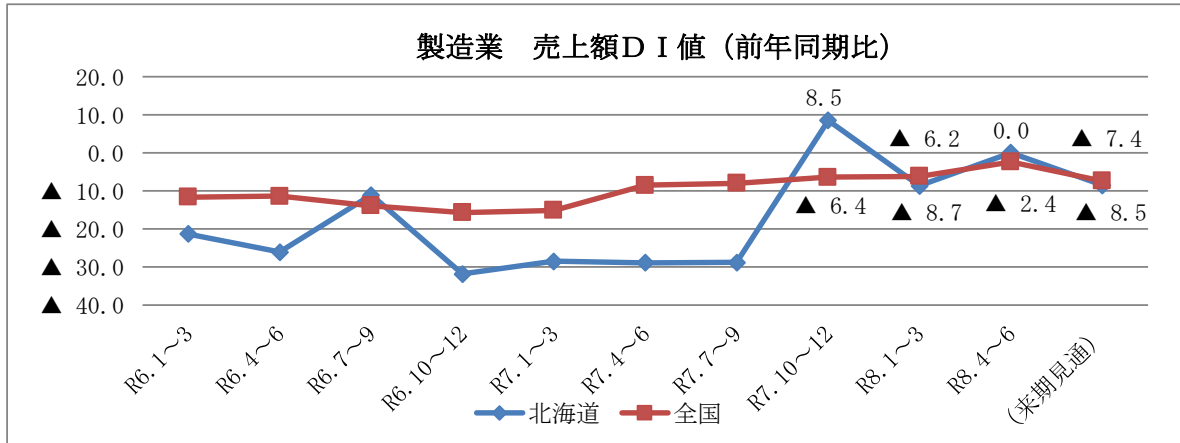
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

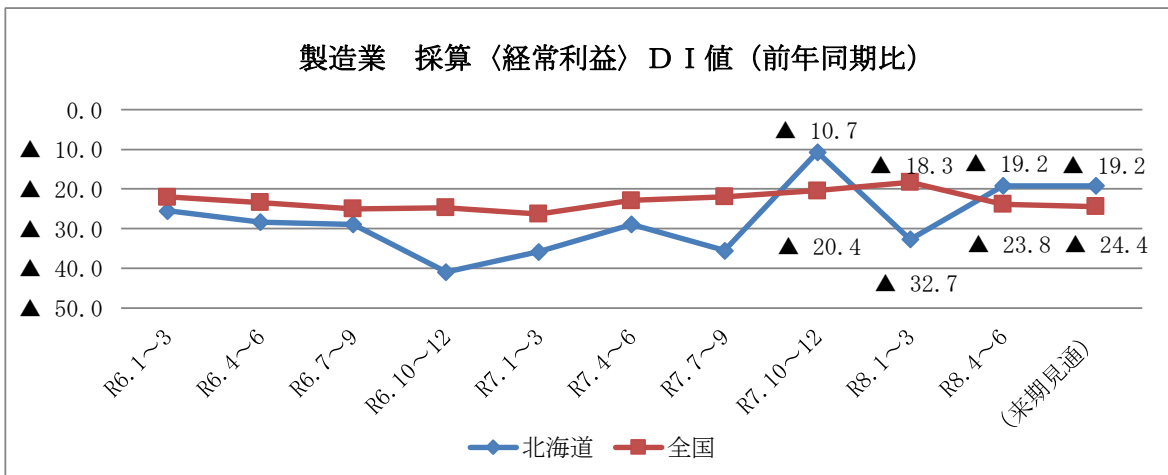
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

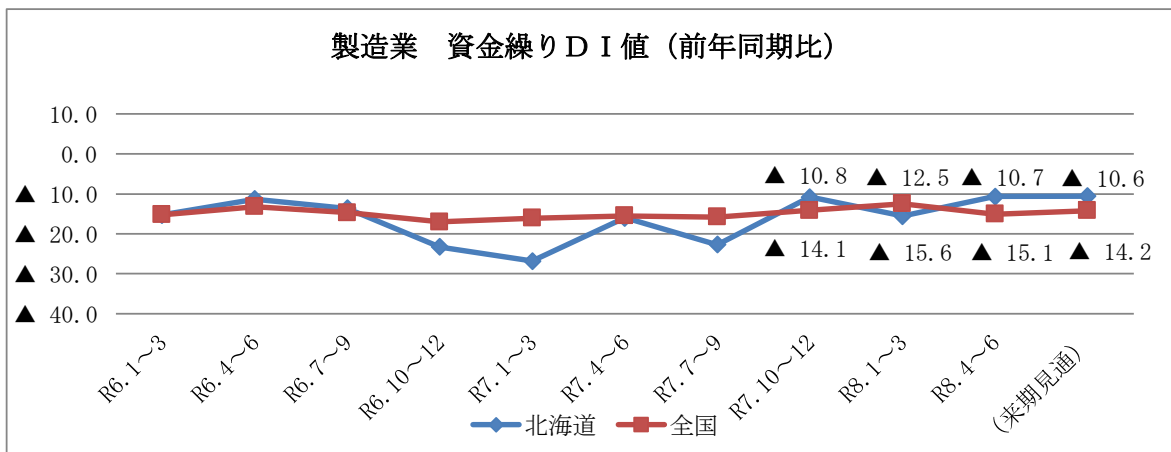
売上額



採算



資金繰り

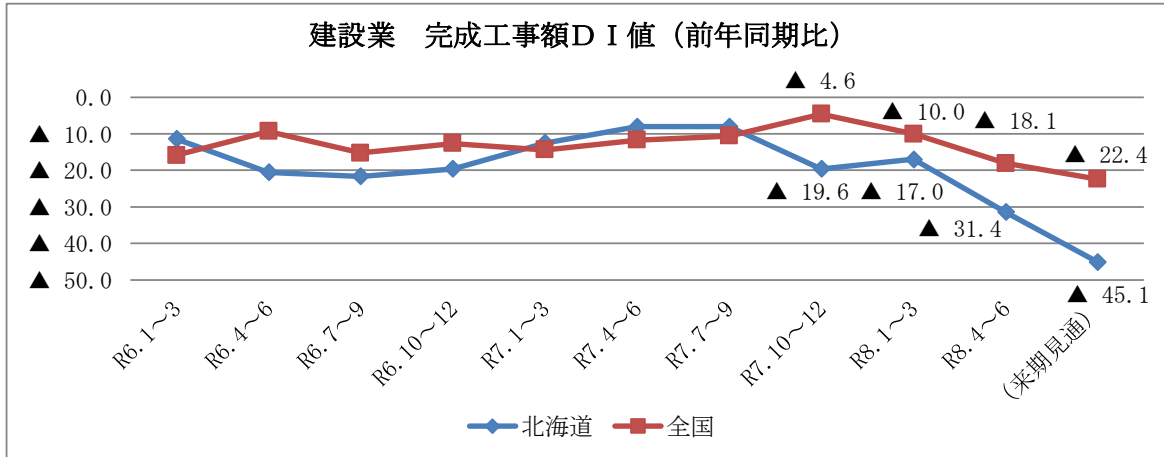


建設業

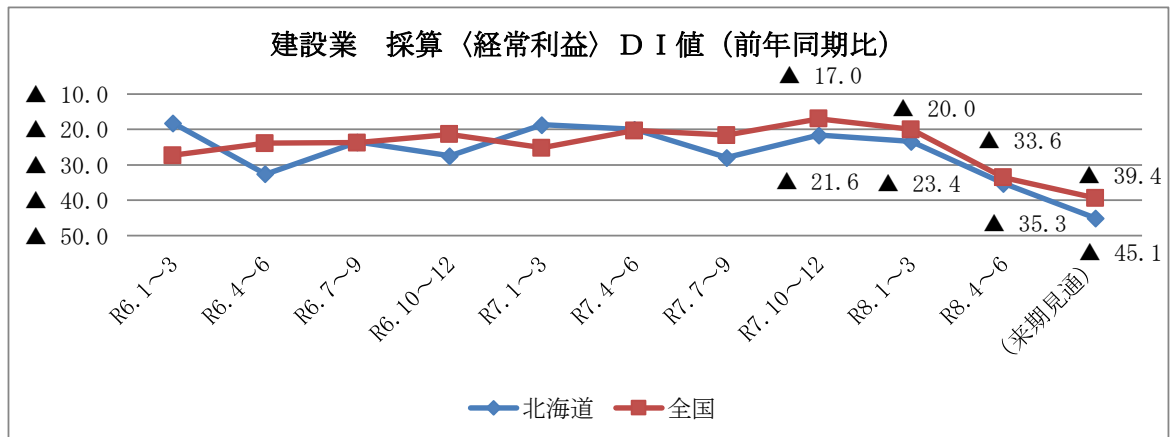
【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

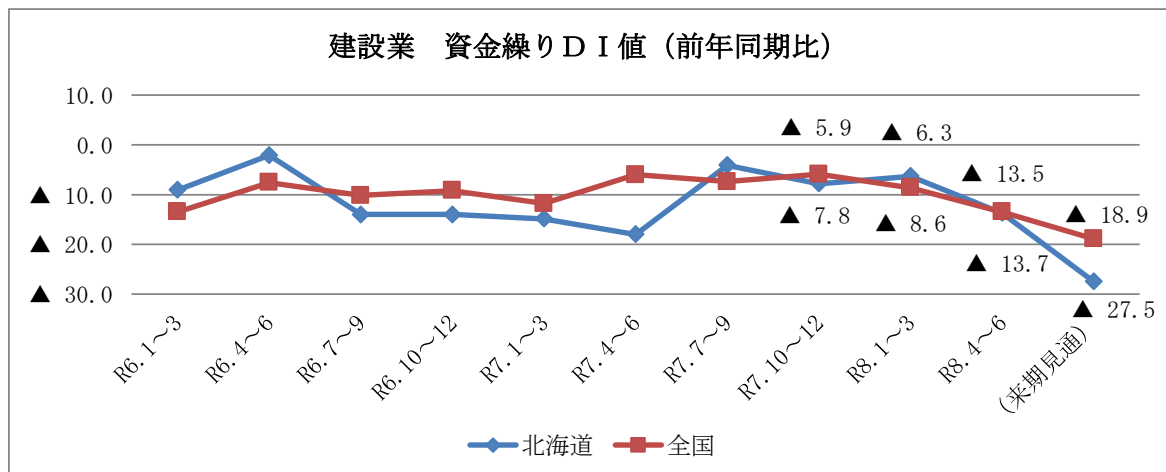
完成工事額



採算



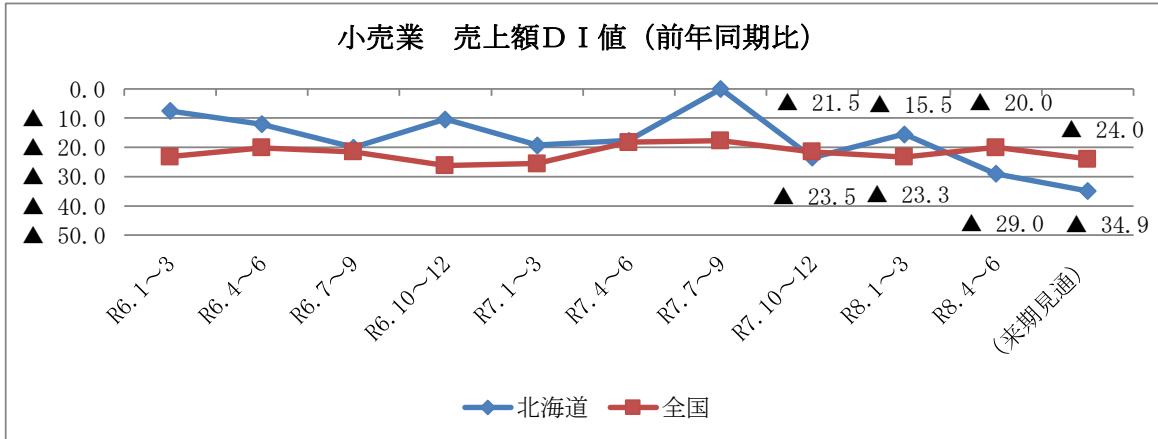
資金繰り



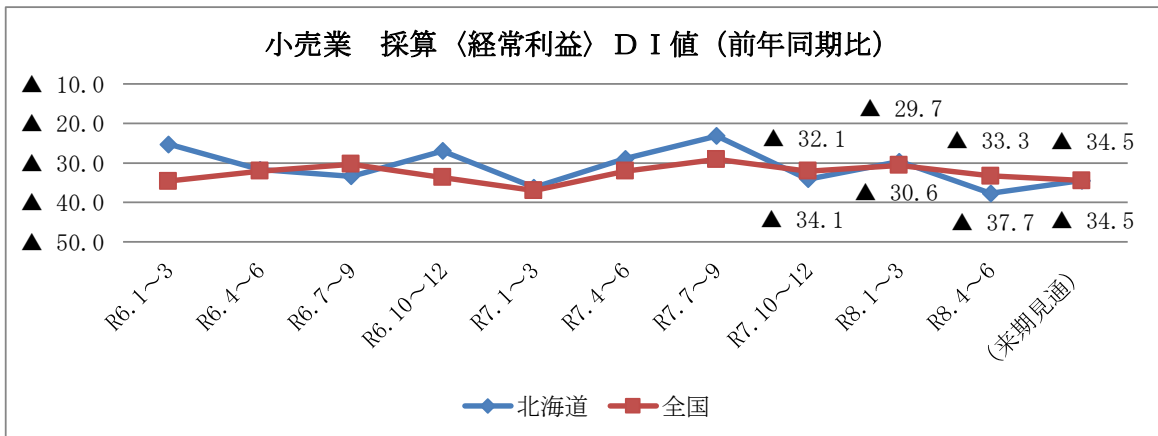
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

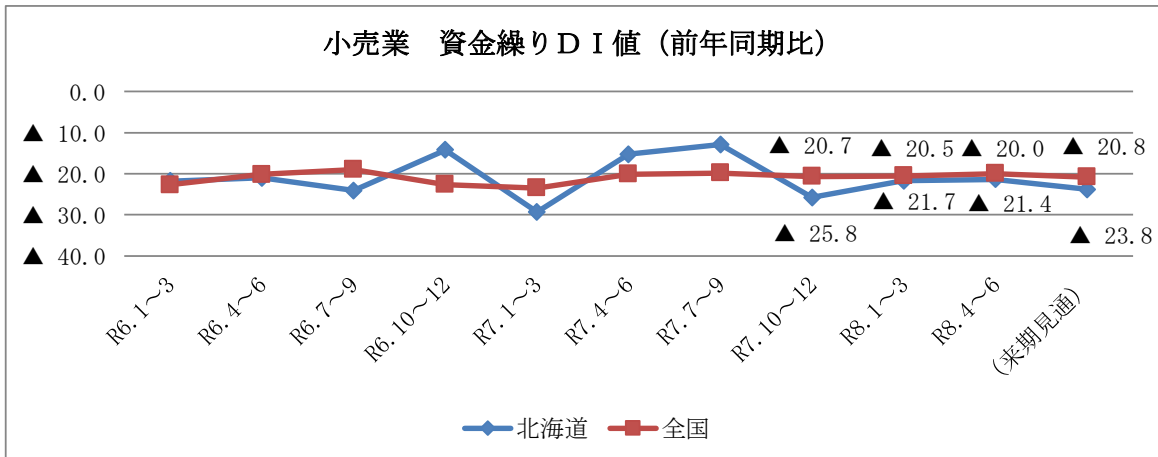
売上額



採算



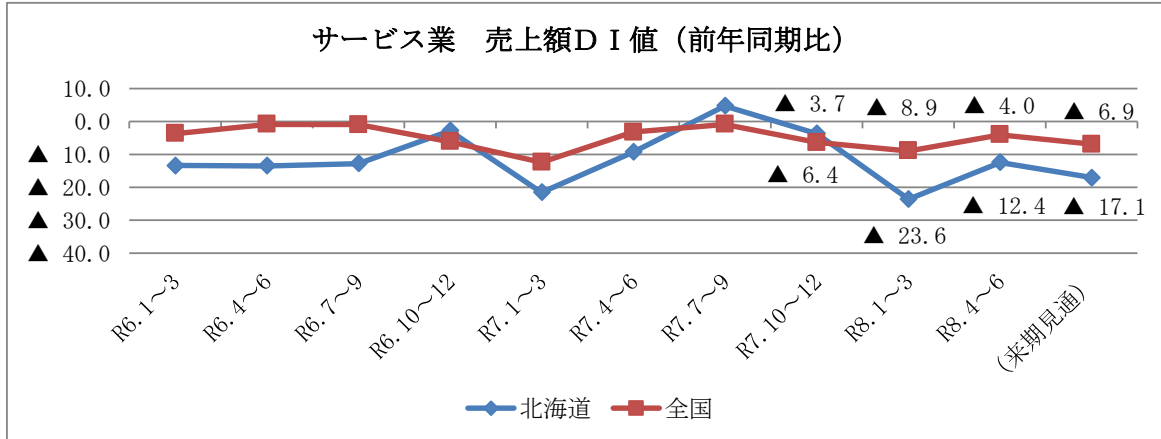
資金繰り



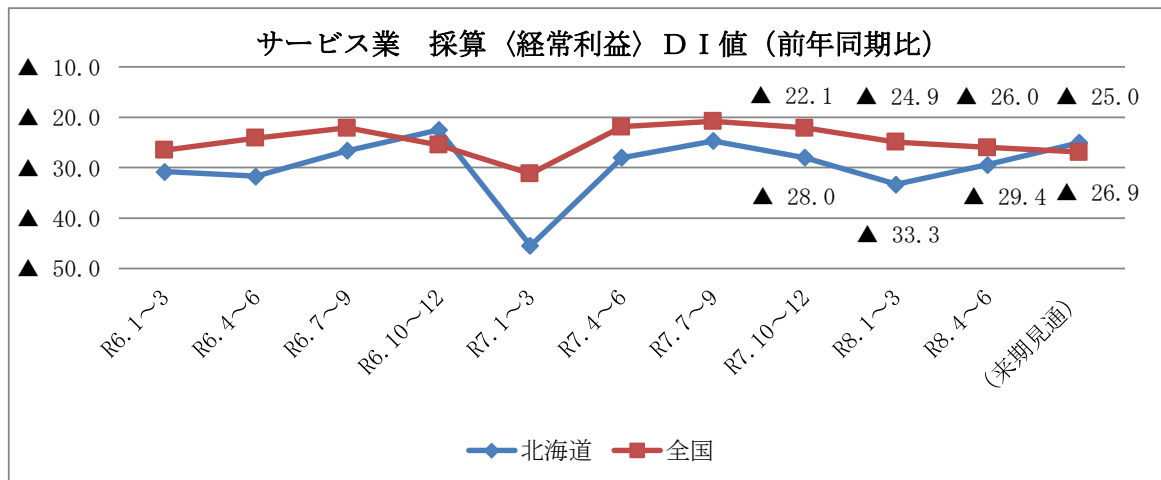
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

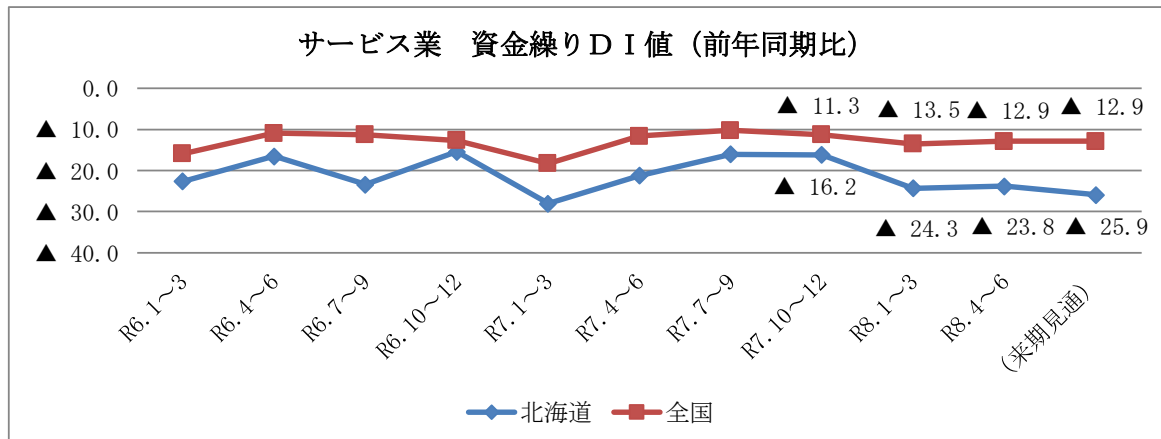
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターの客単価は増加している一方で、旅行客などの一見客の客単価は低い ・輸入品価格の高騰や同業他社の価格引上げを背景に、新規取引先が増加しているのと同時に、既存取引先からの発注数も増加している ・素焼き土管・レンガ・カレット等はA重油の高騰分を価格転嫁できている ・石油価格の高騰により包装資材の仕入額が増加し、その結果、原価が上昇した ・物価高を背景に顧客の購買意欲が低下しており、前年と比べて追加注文が減少している
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の入手難で困っている ・5月までの完成工事については、前期末から計画していた案件が中心であった。一方、現在積算等を進めている6~7月以降の案件については、材料価格や調達時期の見通しが立たない状況にあり、今後の経営環境は一層厳しさを増すことが見込まれる ・材料価格の上昇、人材の確保難が深刻 ・官公需要が停滞。また、熟練技術者の高齢化が進んでいることから、今後は若手人材の確保に注力していきたい ・昨年に引き続き、公共工事の減少や民間工事の停滞による事業の減少に加えて、労働者（技術職を含めた）の確保が困難

<p style="text-align: center;">小 売 業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・品目に関係なく、価格の上昇により購買力の低下を感じる ・交換用オイルの入荷が未定となり支障をきたしてきている ・客数は減少しているが客単価が高く前年より売上を伸ばしている。仕入れ単価が上がっていることもあるが、以前より高額商品が売れており、お客様の購買意識が変わってきているように感じる ・中東燃料問題等により価格高騰、入荷の遅れが発生している ・低価格帯の包装資材が軒並み欠品、来月にはラベルシールやレシート、レジ袋の仕入価格が値上げになる。高騰した分を売価に転嫁すれば買い控えに繋がりにかぬない。今後、売上と利益の両方を維持していけるか非常に不安 ・お客様の高齢化が進み、低価格のものを多数そろえるも利益につながらない ・来年にはエアコンの基準改正があり値段も高くなることから、消費の落ち込みが見込まれる ・小売業の個人商店は成立しなくなっている。市場に見合った業態の選択、導入が必要かと思う
<p style="text-align: center;">サ ー ビ ス 業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウーバーイーツ、ロケットナウの掲載を開始し、テイクアウト販売の売上増加を見込んでいる ・1～3月の売上減少から4～6月は回復傾向。新規顧客確保が大事 ・仕入れ値が高くて利益が少ない。値上げをすると客は来ない。物価高がすべて ・中東情勢や円安の様々な影響によるこの夏の一般観光客の動向を懸念している ・中東情勢の影響で仕入単価が今後高くなることに不安がある ・原材料や仕入価格の上昇が継続しており、経営を圧迫している状況にある。価格転嫁の必要性は認識しているものの、販売価格への反映によって利用客の減少や売上低下につながることを懸念している ・卸の価格に対して、客単価に反映は無理（50%上昇） ・売上は前年に比べて増加はしているが、借入の返済があるため余裕はない。仕入単価もいまだ上昇が続いているため、原価計算の見直しも再度必要